

2021 U—12サッカー選手権宮城県大会における審判の留意事項

しっかりとした理解のもとに試合をコントロールするために、試合の前の日までに競技規則(2020-21適用)をもう一度読み返しましょう。特に近年改正された項目などを再確認し、正しい競技規則の下に的確な判定を下すようにしてください。

レフェリージャージ(黒)上下ソックスを着用し、レフェリーワッペン(左胸)リスペクトワッペン(右腕)を装着してください。また、眼鏡はラバー製ゴーグルタイプのみが装着可能です。指輪、ネックレス、ブレスレットの類いも装着不可です。

また、会場には審判サポートとして審判インストラクターや各ブロックの部長・副部長が配置していますので、不明な点や解釈を曖昧にせず積極的に助言を受けてください。また、インストラクターなどから指摘があった場合は真摯に受け止め、次の機会に活かせるようにしましょう。

主審・補助審判員は以下の事項に留意し、選手が正しい競技規則のもと、より公平で公正な条件で試合に臨めるように努力していただくことを切に願います。

主審

- 補助審判員と協力してゲームコントロールをしましょう。
- 常に足を動かしピッチ内を走り、争点との距離感(10~15m)を意識しましょう。
- 周囲から判定に信頼を得るため、争点を近くから監視するために一生懸命走りましょう。
- タッチライン・ゴールラインを確実にボールが超えたかどうか、しっかり目視できる位置まで移動したうえで判断しましょう(決してベンチや選手からのアピールで判断しない)。
 - そのためには、縦方向だけでなく横方向への素早い移動も意識しピッチ内を広く動けるようにしましょう
- 警告(遅延、異議、意図的なピッチからの退出、FK・CK・スローイン時の距離、繰り返し、反スポーツ的などの各行為)・退場(DOGUSO(ハンド含む)、著しく不正、咬むつば、乱暴、2度目の警告など)など懲戒措置をとる判定基準をしっかり保持しましょう。
 - 選手が小学生だからなどといった忖度はせずに規則に則って必要な懲戒を下しましょう。
- アドバンテージの適用やクイックスタートを妨げないようにし、スムーズなゲームコントロールを心がけましょう。
- フリーキックマネジメント・PKマネジメントなど、各種再開における手順を事前にしっかり確認しましょう。
- 今大会はトーナメント方式なので、ペナルティマークからのキックにより勝敗が決する試合も数あるものとする。進め方についてしっかり予習することが必要です。特に副審がいないことによる「ボールがゴールラインを越えたか」「キッカーがボールを蹴る

前にGKがラインを離れたなどの見極めを1人で監視するためのポジションを意識しましょう。

補助審判

- 常に試合を監視し、競技規則に則って試合をコントロールできているのか確認しましょう。主審が競技規則の適用を誤っていると判断した場合には声を出して主審を呼ぶことも必要です。
- 特に、アウトオブプレーから再開する際に再開方法の誤りに気が付いた場合は、再開する前に主審を呼び止めることも重要です。
- ベンチコントロールを行い、ベンチ内の指導者が暴言を吐くなど責任ある行動を取らないなどの行為があった場合には、主審に報告し懲戒措置をとってもらいましょう。
- テクニカルエリアが表示されない場合、ベンチの端から約1mが動いても良い範囲となるため特に大きく出ている指導者には注意をしましょう。
- ベンチ入りできる指導者は3人以内、ベンチからのコーチングは1名であり、同時に2名以上のコーチングが確認された場合は注意することが必要です。
- ペナルティマークからのキックによって勝敗を決することになった場合、補助審判員が監視する事項は「センターサークル内」「両チームのベンチ」です（立つポジションは、センターサークル内または試合中と同じ椅子で主審と打ち合わせして決めてください）。

打合せ

- 試合開始前までに、本部にて補助審判と打合せを必ず行うこと。
 - ゲームコントロールを確実にするために試合前の打合せは必須です。以下の項目についてそれぞれの役割分担についてしっかり打合せした上で試合に臨んでください。
 - ◇ 前後半終了時アディショナルタイムの伝達方法
 - ◆ 伝達のタイミング
 - ◆ 補助審の行動（立ち上がって1歩前に）
 - ◆ どのように伝達するのか（指を立てる or エア文字を書く、など）
 - ◇ PKの時の主審と補助審の位置と役割・合図の確認
 - ◆ 試合中のPKにおけるそれぞれのポジションとマネジメント
 - ◆ 試合後にペナルティマークからのキックにより勝敗を決する場合のそれぞれのポジションとマネジメント
 - ◇ 試合の記録についての確認（得点・交代・警告・退場）
 - ◇ 負傷事故発生時の対応
 - ◇ 交代の手続きと用具の点検
 - ◇ 主審が競技規則の適用を明らか見間違えていたり、時間管理を間違えていた場合の対応について。
 - ◇ ベンチの管理 . . . など